



だれもが、安心して いきいきとくらせる 未来のために

新しい一年を迎えるにあたり、これからも組合員さんが地域で安心してくらししていくために…コープぎふの役割りについて岐阜大学教授の大藪千穂さんとコープぎふ上林美也子副理事長が対談しました。

家計の把握が 生活力向上の第一歩

上林先生ご自身もコープを活用していただいているとか。どのようにお感じですか。

大藪さん(以下、敬称略)二週間単位の買い物に馴れるまで大変でしたが、インターネットを利用するようになって、本当に必要なものかどうか、二週間のうち何度か検討しながら購入できるのが便利です。

上林大学では、家計簿をつける授業も行われているそうですね。

大藪はい。家計簿はつけるだけではだめ。きちんと計算をして、グラフ化し考察する必要があります。きれいな内容の家計簿をしている、いいかげんな内容の家計簿をしているという違いがあります。



コープぎふ 副理事長
上林 美也子

計簿の学生もいれば、普段はやる気のない授業態度をみせている男子学生が、とても丁寧の家計簿をつけてきて、びっくりするということもしばしばですよ。

上林生活客観視するということは、生きていく上で大切ですよ。

大藪ええ、生活を知ることが、自分を知ることで。家計簿を見れば、どんな生活をしているのか、概ね把握できます。男女ともにきちんと家計を把握すれば、ライフプランも立てやすく、よい家庭環境が築けると思います。

上林今はスマートフォンで簡単に家計簿がつけられるアプリもありますしね。

安心して声をかけていただく ける、地域の顔馴染みに

大藪昨年度は、消費者支援の取り組みの功績を表彰する消費者庁の「ベスト消費者サポーター章」にコープぎふが選ばれましたね。おめでとうございます。

上林ありがとうございます。食品衛生法や食品表示についての学習会など、食を中心とした消費者力向上の取り組みの継続が評価されました。

大藪消費者の生活力向上のために、コープが担う役割は大きいと思います。

職までに35年のローンを組もうと思ったから、25歳で家を建てなければなりません。今、そんな人はいませんよ。

上林若い時から、きちんとライフサイクルと向き合えばなりません。子どもが生まれた時から、学資だけでなく貯金をしてあげば、ずいぶん助かります。

大藪お金や生活のことが心配で、第二子、第三子を躊躇する方も多いようです。安心して出産できる環境整備が急がれます。

上林コープぎふでは、子育て世代を応援する「赤ちゃんサポーター」を実施しています。「ベビーマッサージの会」など、赤ちゃんをつれて若いお父さんやお母さんが集まれる場づくりもしています。子どもが大きくなってからも、支え合える仲間をつくっていただけるといいですね。

大藪赤ちゃんの時期だけでなく、その先も、更に介護の時期にも、仕事と家庭を両立できるようなサポーターをコープぎふができるといいですね。

上林ええ。楽しく子育てができ、年を重ねても安心してくらせる、住みやすい地域づくりのお手伝いをしていきたいと思っています。そのひとつとして組合

また、高齢者が増加傾向にある今、シニア世代に向けた活動にも力を入れる必要があります。

上林高齢者見守り協定や、商品をお届けする時の「くらしの見守り活動(コープ見守りねっと)」による、高齢者の消費者被害防止への貢献も理由にあげられました。印鑑の売りつけ被害を防いだ事例もあるんですよ。

大藪同じ人が定期的に訪問するコープの強みですね。さらに信頼関係を築くには、日常のコミュニケーションが欠かせません。

上林だからこそ、商品のお届け時には挨拶だけでなく、もうひと言の声かけやおしゃべりを大切にしています。例えばお天気の話題でも、糸口ができ会話がつながる。会話をすれば、どんな生活をされているのか、体調の不具合なども伝わってきます。

大藪高齢の方にとっても頼もしい存在ですね。

上林コープのトラックを見て、子どもが安心してドライブに声をかけた」というような例も耳にしています。子どもから高齢者まで安心して声をかけていただける地域の「顔馴染み」になればと思います。

員による「くらしすけあいの会」「おたがいさまひだ」「おたがいさま東部」といった、有償ボランティア活動もあります。

大藪誰しも、ちょっとサポーターして欲しい、という時はありますからね。無償のものも必要ですが、遠慮する人もいます。有償で、気兼ねせず頼めるとよいと思います。

上林専門的な技術を用いた応援ではなく、日常の経験を活かした活動なので、誰でも参加できます。助けてもらうだけでなく、今度は誰かの助けになれるよう、文字通り「おたがいさま」でサポーターし合うことを大切にしています。

大藪自分でできることは自分ですること大切ですが、助けてもらったらいづれは還元するという謙虚な気持ちでつながり合うことは素敵だと思います。

上林今後益々他の組織と連携し、地域の人々が、安心してくらせる、いきいきとしたまちづくりに貢献していきたいと思っています。

大藪これからのコープぎふの取り組みに、期待しています。

上林ありがとうございます。



国立大学法人 岐阜大学 教育学部教授
大藪 千穂さん(家庭経済学・家庭経営学)

大藪もつと外に向けたアピールをして、コープぎふの活動が広がるといいですね。

上林そうですね、組合員さんお一人おひとりに適したサポートを提供して、少しでもくらしやすい地域になるようお手伝いをしていきたいです。

子育てもシニアライフも たすけあっているいきいきと

上林平均寿命が延びている分、老後の生活の準備が不可欠だといわれています。先生はどうお考えですか。

大藪確かに、若い時には「歳をとっていく」という感覚が薄いものです。その上、晩婚化、晩産化が進み、子どもの養育費や教育費、家のローンと、老後に大きなし寄せがくる傾向にあります。退